



木村三千子 作

牛岳のふもとと三段の滝に遠足に行きました
滝の向こうに友達を見つけ
うれしくなって胸がキューンとなりました

SHOGAWA PUBLIC RELATIONS



広報
しょうがわ

2002

7

No.579

ホームページアドレス <http://www.town.shogawa.toyama.jp/>
Eメール shogawa@p1.tst.ne.jp

豊かな水と緑に恵まれた理想郷の建設に向け

町制施行五十周年記念式典挙行



式辞を述べる藤森町長。ステージ花は、姉妹都市鶴川町から贈られた「アルストロメリス」などです。

6月1日、ふれあいセンターにおいて、「町制施行五十周年記念式典」が行われ、富山県知事をはじめ、姉妹都市「北海道鶴川町」「山口町長など約200名が出席され五十周年を祝いました。

式典では、藤森町長が「昭和27年6月、東山見、青島、雄神、種田の四ヶ村が、地理的、人情、風俗が相通じ、大同合併を行い、庄川町が誕生して、半世紀の月日が経過しました。この記念すべき年を機に、将来に向けて、先人が築き上げた輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、町民一人ひとりの幸せと、豊かな水と緑に恵まれた理想郷の建設に向け、町民の皆様方と一緒に、取り組む所存です」と式辞を述べ、山森議長からお祝いの挨拶がありました。

当日は鶴川町から贈られた色とりどりの花が会場いっばいに飾られ出席された皆さんの目を魅了しました。
また、町制施行五十周年記



表彰状の贈呈

▶清水國明さんの記念講演が行われました。



念功労表彰を受けられた26名、2団体の皆さんに表彰状が贈呈され、受賞者を代表して齋藤譲一さんが謝辞を述べられました。(受賞者のお名前等は4・5ページでご紹介しています)

このあとタレントの清水國明さんを講師に迎え「清水流暮らしのすすめ 明日の庄川へしみずさんからのエール」と題して講演をいただきました。

第五十回 庄川町観光祭盛大に開催



庄川町が合併した翌年、昭和28年に、町制施行1周年を迎えたことを記念し第1回目の観光祭が行われました。

50回目を迎える今年の観光祭は6月1日(土)、2日(日)に開催され、庄川峡花火大会や夜高行燈街練りなどに多くの観光客でにぎわいました。また婦人会からの要望であった新しい浴衣が贈呈されました。白地に江戸彼岸桜と庄川の清流をイメージした浴衣での庄川音頭街流しは、中学生も含む総勢290人が参加され見事な踊りを見ることができました。



夜高行燈コンクール結果

最優秀賞

東部松栄会(東部)

優秀賞

西部西友会(西部)

中部中路クラブ(中部)

庄川町観光協会会長賞

庄新会若連中(岩黒団地)

庄川町商工会会長賞

中之島若連中(中之島)

庄川町美術協会会長賞

畑直若連中(畑直)

庄川町夜高保存会会長賞

示野若連中(示野)



町制施行五十周年記念功労表彰受賞者



(後列左から)チャレンジャー2010代表島田 強、金井史郎、谷口友次郎、ガールスカウト日本連盟富山県第39団 団委員長島田そよ、新町美恵子、鏡沢孝治、式部良子、武田澄子
 (中列左から)広嶋 隆、大浦重一、加藤秀明、富樫彰男、宮嶋 忠、脇本 清、品川数子、但田増子、石黒 敬、齋藤 徹
 (前列左から)齋藤清一、寺井久誠、宅間三郎、八田信孝、町長、議長、藤永 皋、齋藤讓一、山岡為義、池田哲雄
 (敬称略)

個人

自治振興部門

・藤永 皋(示野)

多年にわたり町議会議員として地方自治の伸展に寄与されました。

芸術文化部門

・嶋田 秀男(東京都)

多年にわたり日展及び日彫展において数々の賞を受けられ、現在も日展会員、日彫会員として活躍し芸術・文化の向上に寄与されました。

教育部門

・水木 隆(砺波市)

多年にわたり小学校及び中学校の学校医(眼科医)として、児童・生徒の健康増進にご尽力されました。

・大浦 重一(青島)

多年にわたり中学校の保健体育の教諭を務められ、退職後においても引き続き

部活動の指導にあたられるなど、学校教育にご尽力されました。

厚生部門

・池田 哲雄(金屋)

多年にわたり町身体障害者協会の理事及び相談役を務められ、障害者の生活指導相談員としてご尽力されました。

・山岡 為義(古上野)

多年にわたり町身体障害者協会相談役及び、町傷痍軍人会の役員を務められ、障害者の生活指導相談員としてご尽力されました。

・石黒 敬(天正)

多年にわたり町民生児童委員を務められ、民生の安定と児童福祉の向上に尽力されました。

・脇本 清(天正)

多年にわたり高砂会館園芸部の部長及び、高砂会館管理運営委員長を務められ、

高齢者の生きがいの創造に大きく貢献されました。

・品川 数子(青島)

多年にわたり高砂会館手芸部の部長を務められ、高齢者の生きがいの創造に大きく貢献されました。

・但田 増子(金屋)

多年にわたり高砂会館アートフラワー部の部長を務められ、高齢者の生きがいの創造に大きく貢献されました。

・宮嶋 忠(青島)

・富樫 彰男(金屋)

多年にわたり町国民健康保険運営協議会委員を務められ、国民健康保険事業の安定的な運営を図るためご尽力されました。

・齋藤 讓一(青島)

多年にわたり町ボランティア連絡協議会のサポーター及び会長を務められ、地

域ボランティアの活動推進に大きく貢献されました。

・新町美恵子(庄)

多年にわたり町婦人ボランティア たんぽぽ・りんどうグループに所属し会長を務められ、郷土愛護・文化財、石仏など調査し小冊子を発行されるなど地域に溶け込む活動にご尽力されました。

産業経済部門

・宅間 三郎(金屋)

多年にわたり町商工会の副会長及び会長として、町の商工業の発展にご尽力されました。

・寺井 久誠(青島)

多年にわたり町商工会の理事として、町の商工業の発展にご尽力されました。

・齋藤 清一(示野)

多年にわたり町木工協同組合の専務理事及び理事長として、後継者育成・需要開拓に務められるなど伝統的地場産業の振興に大きく貢献されました。

統計調査部門

・鏑沢 孝治(金屋)

・式部 良子(庄)

・武田 澄子(庄)

多年にわたり国勢調査・農林センサス・工業統計調査などに従事され、統計調査の普及にご尽力されました。

消防防災部門

・齋藤 徹(示野)

・広嶋 隆(天正)

多年にわたり消防団員として、職務に精励され民生の安定に大きく貢献されました。

交通安全部門

・谷口友次郎(庄)

多年にわたり、街頭指導を自主的に実践され、子どもたちの交通安全意識の啓蒙や、地域の交通安全の推進に大きく貢献されました。

・金井 史郎(金屋)

多年にわたり、井波警察署区域交通安全協会の地区役員及び常任理事を務められ地域交通安全の推進に大きく貢献されました。

緑化部門

・八田 信孝(青島)

町の花木である江戸彼岸桜を保護育成する「砺波風山桜保存会」設立に尽力され、また、会長として花と緑の町づくりに大きく貢献されました。



団体

教育部門

・ガールスカウト日本連盟 富山県第39団

団発足以来、積極的に活動し、「豊かな発想」、「リーダーシップ」、「ボランティア精神」を培う多くの青少年の健全育成にご尽力されました。

産業経済部門

・チャレンジャー2010

将来を担う子どもたちに夢と希望を与える数々の町イベントの企画・運営に取り組み、活力ある町づくりを進められました。

エコーはがきの発行

町の美しい景色を通じ庄川町をPRするエコーはがき(広告付官製はがき)が発売されました。町が広告主で5万枚印刷され富山県と石川県の一部で普通のはがきより5円やすい145円で販売されています。お近くの郵便局でお求めいただけます。



庄川百景写真集の刊行

未来に残したい庄川の四季の美しさを集めた「水と緑のふるさと庄川百景写真集」を刊行しました。一家に一冊、あるいは友達へのプレゼントとしてお使いください。また、今残せる庄川町の魅力を未来に残しておいてはいかがでしょうか。



販売価格 1冊 1,000円
発売場所 庄川町役場、水記念公園特産館
郵送を希望される方(県外への郵送も可能です)
冊子代1,000円と送料310円を現金書留でお申し込みください。

申込先 〒932-0393 庄川町青島401
庄川町役場企画調整課

問合せ先 企画調整課 ☎82-1905

写真でつづる50年の発行

町の50年間のあゆみや懐かしい写真を中心に綴りました。5月1日(水)、町民運動場において保育所園児(4・5歳児)小・中学生、町議会議ほか総勢760名による人文字を表紙に使い、6月に全戸配布しました。



議会だより

6月議会定例会

庄川町議会定例会(第3回)が6月14日から7日間の日程で開催され、初日の14日は、議案8件、報告3件を一括上程し、町長より町政報告、議案に対する提案理由の説明を行ったあと、各委員会へ付託し、続いて、一般質問が行われました。

また、17日には建設委員会、18日には総務委員会が開催され、付託議案を慎重審議し、最終日20日日本会議において、各委員長報告が行われました。付託された議案は原案どおり可決されました。

この後、推薦1件、議員提出議案1件が追加提出され、推薦可決されました。
本会期中に提案された議案については、別記のとおりです。
また、その後、議長選挙が行われ、常任委員会等の所属の変更がありました。

各常任委員会

総務委員会

委員長 松田 吉孝
副委員長 寺井 武彦
委員 篠崎 栄治

“ 野村 政春
“ 山田 善久
“ 太田 信良
“ 小西 巖

建設委員会

委員長 廣橋 次弥
副委員長 山田 幸夫

委員 石黒 久敬

“ 藤井 稔

“ 山森 文夫

“ 藤永 皋

“ 池田 守正

議会運営委員会

委員長 池田 守正

副委員長 野村 政春

委員 山森 文夫

“ 大田 信良

“ 藤永 皋

“ 小西 巖

監査委員

小西 巖

砺波広域圏事務組合議会議員

池田 守正

山田 善久

山森 文夫

山田 善久

砺波広域水道企業団議会議員

山田 善久

砺波地方衛生施設組合議会議員

藤井 稔

庄川左岸水害予防市町組合議会議員

石黒 久敬

庄川右岸水害予防市町組合議会議員

山森 文夫

砺波地方介護保険組合議会議員

山田 善久

野村 政春

ご挨拶



議長 久 善 山 庄川町議会

このたび、議員皆様方のご推挙により、議長の大役に就任させていただきましたことは、誠に身に余る光栄であり、衷心より感謝申し上げますとともに、この重責をひたすら

痛感いたしている次第であり
ます。

市町村合併など地方行政を取り巻く環境は厳しい中、町民ニーズに答えるよう執行機関と議会が一体となって本町の発展と住民福祉の向上を目指し、また、円滑な議会運営を図るべく、誠心誠意努力いたす所存であります。

今後とも、町民各位の絶大なご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

一般質問

質問 石黒議員
答弁 野村助役

入札制度について

予定価格の公表について

【答】平成13年度の庄川町の平均落札率は98.2%、最高落札率は100%、最低落札率は87.3%である。

県は、平成10年4月から、県の資材単価を公表し、既に公表されている土木工事標準歩掛などと併せ積算に必要な基準がほぼ業者に公開され、積算パソコンソフトも市販されており、積算の透明性を高める施策が浸透し、業者の積算技術が高度化、均一化されたと思っている。
また、町外では採算を無視

した破壊的な入札事例が生じていると聞いているが、厳しい経済環境の中で、町の建設業者の皆さんは、苦しいながらも経営の健全性を維持しておられると推測され安堵している。

入札制度について

【答】町においては、業者が少なく、そのほとんどが中小零細企業であり、雇用の確保、地域経済への波及等切実な影響も配慮し、複合的、総合的な施策の選択の中で、現時点では引続き、指名競争入札により執行していく考えである。

予定価格の公表について

【答】当面は指名競争入札を実施していく予定なので、予定価格の公表と一体となった入札制度の改革は、経済環境の改善、行政エリアの拡大などを見据えながら今後検討して

いきたい。

広報での指名業者並びに落札率の公表について

【答】庄川町広報、庄川町ホームページ、建設業界紙で入札結果として、工事名等並びに入札予定を公表している。さらに、庄川町情報公開条例が平成13年4月1日より施行されており、工事請負契約に関することも公開の対象となっている。

兼業問題について

【答】請負禁止の法律的問題について

【答】地方自治法では、議員が個人として、地方公共団体の請負をしてはならないこと、地方公共団体に対し主として請負をする法人の役員になることを禁止している。「地方公共団体に対し主として請負をする法人」については、行政実例では、「その法人の最近の決算書により判断して50%を超えてその地方公共団体と請負がなされているときは、明らかに、主として同一の行為をする法人に該当すると解される」とある。その地方公共団体と50%を超えて請負がなされているかどうかにより判断戴きたい。

昭和35年第6回臨時会での庄川町議会の「自粛決議案」について

【答】議会の自主決議であり、判断は議会にある。当局はあくまでも地方自治法第92条の2の規定で対応している。そこで随意契約に対する町の考

えは、同条の規定では請負にいたる契約の過程は特段定めず、随意契約による請負は同条の規定から排除されるものではないと認識している。企業の役員を退職された議員の方については、同条中「これらに準ずべき者」かどうかで対応している。

質問 石黒議員
答弁 藤森町長

質 執行権と議決権について
委託金などについて

分担金、負担金、補助金、委託金の定義について

答 分担金は、地方公共団体が特定の事業に要する経費に充てる為、当該事業によって利益を受ける者に対しその受益を限度として公権力に基づき賦課徴収するものである。

負担金は一般的には分担金と同様の意味において用いられるが、中には社会福祉施設の利用に対する実費弁償的な性格を有するものもある。

補助金は特定事業において地方公共団体が公益上必要があると認められた場合に支出するもので、規則、要綱、規定などを作成し、手続きを明確にすることが重要である。

委託料(委託金)は、地方公共団体がその権限に属する事務・事業などを直接実施せず、他の機関または特定のものに委託して行わせる場合にその反対給付として支払われる経費で

公法上と私法上の委託があり、両者とも通常委託契約を結んでいる。

委託金受託金について

答 委託については、法令上の根拠に基づき契約を行い、町が計画立案してその業務を公益法人が受託し実施している。これらの業務は執行するためのもので裁量権を伴わず、契約内容に基づき執行し、あくまで実績による精算となるもので、公益法人にとっては利益の発生するものではない。

町としては、引き続き現在の健全なスタンスを維持し、当公益法人に事業の一部を委託していきたいと考えている。

兼職問題について
委託金を受託している公益法人の代表が議員であることの合法性について

執行権と議決権の諸問題について

答 地方自治法では、議員が議員として職務に専念し、住民の期待に答えるためには、他の職を兼ねない方が好ましいとしているが、地方公共団体には民法などに基づく法人で公社の名称による団体があり、その理事などの役職についている例はあるが、別に禁止の法律はないので道法にはならないと考えている。

執行権が議決権に侵害されているのではないかとということとは断じてありません。

質問 松田議員
答弁 藤森町長

質 水田生産調整における転作
作目「ゆず」の普及拡大について

ゆずの普及拡大に伴う新規
植栽に対する物心両面の支援について

答 現在、県単独の助成金として10戸当たり2万円の制度があるが、今後、拡大する需要に対応するためにも、栽培面積を計画的に拡大していかなければならない。

金屋柚子生産組合と協議しながら、町単独の助成金交付など前向きに検討したい。

質 道の駅「庄川」の整備拡充
と広域観光について

現在の道の駅をさらに拡充整備し、情報交換機能をより充実し、エンタランスの利用はもとより、庄川の観光宣伝をはじめとするイメージアップ戦略の推進について

答 誘客ということでは、非常に重要なことと認識しているが、国土交通省との協議が必要であり、市町村合併を視野に入れ広域的に整備をしていかなければならないと考えており、道の駅「庄川」の管理をお願いしている庄川開発とも十分協議をし、観光客を引き寄せる魅力ある施設にしていく方向で検討していきたい。

東海北陸自動車道の全線開通整備に伴う自動車の流れに対応すべく観光ルート、施設等の

プランを広域圏全体での作成検討について

答 庄川町、井波町、平村、上平村、利賀村で構成している庄川水系ミュージアム街道推進協議会で、東海北陸自動車道沿線等に案内看板を設置したり、観光連盟砺波地区内で発行している観光パンフレットを積極的に活用し、観光客の誘致を図りたい。

観光行政については広域的な取り組みが必要であり、特に砺波広域圏で検討を進めていきたい。

質問 寺井議員
答弁 藤森町長

質 牛岳遊歩道(登山道)の整備
について

牛岳遊歩道(登山道)の整備及び牛岳ヒュッテの整備について

答 二本杉から三段の滝までの登山道については、道幅の狭い所や急な所など数ヶ所あり、現在、山田村とも協議しており、早急に対応したい。

牛岳ヒュッテについては、牛岳スキークラブに越冬準備や管理をお願いしており、今後老朽箇所等修繕すべき箇所があれば随時整備していきたい。

質 庄川右岸の件
庄川右岸整備について

答 昭和53年に舟戸橋が完成し、その後、やまぶき荘等がオープンし、平成5年にはラジコンカー場や遊歩道も整備してきた。

残念ながら利用客は少なく、施設の利用も年々減少している。こうした状況に歯止めをかけるとともに利用者の増加につながるよう努力しなくてはいけない。

今年4月に庄川右岸の堤防に「もみじ」を植樹し、春には砺波嵐山の桜、秋にはもみじの名所となるようにするとともに、左岸側と右岸側が何らかの形でつながりを持てるようにしたい。

質 庄川町職員の件
平成15年度の庄川町職員の採用について

答 市町村合併を踏まえて、町の人口規模に即した適正な職員定数は人口百人に一人の職員と考えているが、社会福祉児童福祉など住民サービスを堅持するにはそこまで減らすことは困難であり、臨時的に退職職員の再雇用や就業希望者の雇用で対応を考えている。また、地方分権が進む今日、職員の資質向上には更に厳しく指導し、業務に支障をきたさないよう配慮するとともに、人件費の抑制と時間外手当を削減し、町民の雇用の創出と、経常的経費の圧縮を図り、投資的な住民の諸要望を一つでも多く実現したい。

質問 藤永議員
答弁 藤森町長

質 市町村合併について
市町村合併は複数の市町

村が新たな町づくりを目標に意思統一され、将来計画を策定するものである。砺波地域においても、今のところ12市町村が必ずしも一つになるという確信のもとに合併に関する研究会を開催したり、準備会が行われているわけではなく、これまでの経緯を踏まえ、一つになることができないか模索している段階である。

こうした検討を重ねることによって合併できる市町村の枠組みが、いずれ明確になるであろう。合併を決めた市町村に共通する個々の問題を具体的に検討し、住民サービスや負担について協議をはじめることができると考えている。

合併準備会は、12市町村が合併協議会を設立できるかどうかを見極めようとして、組織されたものである。こうした政策形成の途中の段階の議論の内容を現状では安易に公表することはできない。いずれ準備会の目的が達成され、その結論や方向性が明確になった折には、関係市町村とともに協議し、歩調を合わせて公開することについて検討すべきであると考えている。

質 岩武用水沿の道路整備と安全対策について

答 用水沿いの道路は町道233号線で町道認定しており、草刈や舗装補修の維持管理に務めている。用水側の安全対策については、用水の流量や



議会傍聴をする中学2年生

道路との高低差から考えると現状で十分であると考えている。路面の損傷については、早急に対策を講じたい。

通学路としては、二万石用水沿いの町道75号線の舗装工事により、これを通学路として利用することについて小学校と協議中であり、今後とも安全で安心できる道路整備を行っていききたい。

質 松原地内町の墓地に通ずる町道の整備と墓地の環境整備について

答 本来3・4級の町道については、道路の維持は地元が行うものとして町道認定したものである。利用実態としては墓参道として限られた日数の通行や畑作関係の利用である。町としても墓地周辺の環境整備の一環として、墓参時期には草刈を行い整備に努めているが、これ以上の整備については、今のところ考えていない。

可 決 さ れ た 議 案

【条 例】

庄川町議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について
 地方自治法の改正に伴い、本条の関係条項を改正するものです。
 朝倉文庫基金に関する条例の一部改正について
 本年度から朝倉文庫基金を取崩し、庄川町の社会教育振興を目的とする事業の財源に充てるものです。
 庄川町国民健康保険税条例の一部改正について
 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、本条例の申告規定等について改正を行うものです。
 庄川町立図書館条例の一部改正について
 本年4月から完全学校週五日制の実施により、週休日の図書館利用者のため利用時間を延長するものです。
 庄川町道の路線変更について
 町道第256号線の起点及び町道第257号線の終点の変更し、それぞれ路線を延長するものです。

【その他】

公の施設の区域外設置の承認について
 砺波市より夢の平スキー場のリフト改修に伴い、リフトの一部が庄川町内に設置されることについて承認するものです。

【予 算】

平成14年度庄川町一般会計補正予算(第1号)
 追加補正額は181,769千円で、補正後の予算総額3,520,769千円で、主なものは、東山見保育所駐車場整備事業費12,842千円、農村公園用地整備緑化工事費10,000千円、林道横住奥山線開設工事費9,500千円、特産館アーケード設置工事費25,000千円、消雪装置

リフレッシュ工事費25,000千円、繰上償還元金99,405千円等です。
 平成14年度庄川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 追加補正額は2,452千円で、補正後の予算総額503,110千円となるもので、主なものは、污水管渠布設工事費2,100千円です。

【報 告】

平成13年度庄川町一般会計繰越明許費繰越計算書について
 11事業188,245,935円を繰越すものです。
 平成13年度庄川町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について
 雄神処理施設機能強化(その1)工事について136,702,000円を繰越すものです。
 平成13年度庄川町水道事業会計継続費繰越計算書について
 13、14年度の継続事業で実施する配水施設拡張事業について翌年度通次繰越額が38,699,500円となったものです。

【推 薦】

庄川町農業委員会委員の推薦について
 庄川町古上野176番地 朝倉進氏 推薦

【議員提出議案】

庄川町議会会議規則の一部を改正する規則について
 「議員派遣の法制化」を含む地方自治法等の一部を改正する法律の成立により、議員派遣については会議規則に基づく手続きを経なければできなくなることから、本規則の一部を改正するものである。

墓地環境整備については、現時点では、用地の関係からこれ以上の墓地造成やそれに伴う環境整備については困難であると考慮しており、除草、ごみ収集などの環境対策に万全を講じることが重要なことである。さらに看板等で環境美化の啓発を行っているが、持ち込んだ「ミ」は持ち帰るなど、マナーを守っていただけるとより更に啓発を図っていきたい。

質問 野村議員
答弁 藤森町長

質 介護保険について

答 砺波地方介護保険組合の平成13年度決算については、現在精査中とのことであるが、特別会計の歳出額については74億円余りでこのうち給付額は12年度に比べて月平均では15%程度増えている。1号被保険者の保険料免除などにより国から交付される特例交付金として造成された円滑導入基金の取崩しにより、最終的にはおよそ2億円程度の繰越金が生じる見込みであると聞いている。

介護保険料については3年毎に見直すこととされており、平成14年度が見直しをする年になる。平成14年度においては、国・県の指導をうけ平成15年度から平成19年度にわたる施設建設及び居宅サービスの需要動向を十分勘案し、議論をふまえ、介護保険事業計画を

策定することとしている。これに基づき平成15年度から平成17年度を見据えた保険料を決めることとなるので、現時点でははつきり申し上げることはできない。

入所順については、原則的には申込順で対応されているが、今後は、重度要介護者を優先する運営規程を設けるとも報道されているところである。今後の建設計画については、平成15年度から平成19年度までの保険事業計画を策定するにあたり、現在調査中とのことであるが、今後の施設の建設については民間が主と聞いている。

質 環境ISO14001について

答 地球環境問題としてISO14001の認証取得をすることは、地球環境保全について普及啓発を推進するのに有効である。経費の負担・労力を考えるとそれだけの住民の方々が総合的に賛同されるか疑問である。

今日のような厳しい財政状況のもと、限られた財源の中で住民の要望を少しでも叶えることが最優先であると考えており、合併を踏まえ、近隣市町村の動向を見極めながら遅れることなく検討したい。

<http://www.town.shogawa.toyama.jp/>

シリーズ

市町村合併について考えましょう 14



栗本(カツベク)くん

今年4月から町と自治振興会の役員の方々と市町村合併について毎月定例会を行っています。6月25・26日の兵庫県篠山市の視察調査を控えた6月4日話し合いが開かれました。その主な概要をお知らせします。

【自治振興会協議記録から】

準備会が発足して、広域圏の動きは進んでいるのか。

まず4月に始まり、定例的に協議し始め夢ある砺波地域を考えていきたい。

助役を中心としているということだが、今年中に首長さんの会合のめどは立っているのか。

準備会である程度、議論が進まないとその段階に入らないと思う。

どの市町村が集まっているのか。

13年度に開催した研究会と同様、砺波広域圏の10市町村に小矢部市と福岡町を加えた12市町村である。

行政事務ばかりでなく各市町村の財産や職員についても検討しておくべきでないか。

行政比較は企業会計も含めて総合的に検討すべきである。職員数については、今から将来の定員管理を考えて採用を控えるなど、適正化計画が現実に行けるものにすべきである。

兵庫県篠山市は4町で市町村合併するまでに3年を掛けている。17年3月までという短い期間に砺波地域12市町村で15万人の新たな都市を作ること、いつ頃から議論をするのか。今のままでは不可能でないか。

合併することだけを目的とするなら不可能であろう。しかし、将来のまちづくりを考えるならば、法の期限にこだわる必要はない。しかし、国から財政支援を受けることができる有利な法律がある間にその恩恵を受けるべきである。

法律の期限に追われて、議論もせずに市町村合併だけ慌て、合併後に問題の解決に追われているようではメリットといえるのか。

それも一つのやり方である。基本事項については共通認識をもち、

詳細は合併後に十分な検討するという方法もあると思う。いずれにしろ、砺波地域の各首長は早急に明確な判断を住民に示すべきである。

その他の意見

- ・ 砺波地域のどの市町村も人口が減っており、将来自立して行政運営できる市町村はない。またこれまでの結果にこだわっているのは、上滑りした議論になるだけである。
- ・ これまでの市町村合併に至った事例のほとんどが、首長や議長がリーダーシップを取っている。
- ・ 首長は自治体の代表であり、議会は町民の代表である。議会も住民の状況を見ながら動くべきである。これらの方々が、その機を逃がさず行動してほしい。自治振興会や各区はそれをバックアップしていかなければならない。
- ・ 資料を作って貰っても、その比較や判断を的確にできる一般町民はほとんどいないだろう。専門的なことは役所に任せることも大事である。住民が何から何まで判断できるわけもないことを私たちも理解すべきである。

行政がもつ悩み

情報媒体について考えてみました

情報媒体の 移り変わり

近年、情報機器の発達によりいろいろなところで、たくさんの方が流れています。庄川町での情報媒体の始まりは、昭和27年7月に「庄川町広報第1号」として発行されました。それから防災行政無線を利用した、1日3回の定時放送が始まり、毎日のお知らせが、拡声器や個別受信機を通して皆さんの耳に入るようになりました。最近では、インターネットの普及に伴い、ホームページを通じて全国各地から新鮮な庄川町の情報を見ることができるようになってきました。

町独自の情報媒体

情報は見る人、聞く人にとっては新鮮で、楽しい情報

です。しかし最近、情報媒体が増え情報の発信が追いつかなくなってきた。生かされたいという悩みがあります。

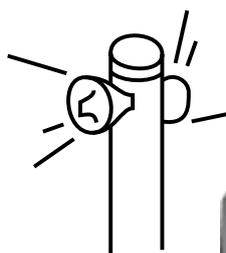
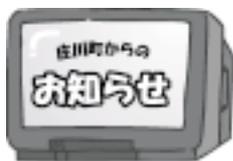
町独自の情報媒体には、皆さんもご存知の、毎月発行する「広報しようがわ」があります。これは文字をゆつくりと読め、保存できるという長所はありますが、1ヶ月に1回の発行となるためタイムリーな記事に心掛けてはいるものの、ホームページのような新鮮な情報を望むことはいへん難しいと考えられます。また、活字離れしてきた若者にはあまり読んでもらえないといったこともあります。

ホームページはいつでも情報を更新することができ、生きた話題を全国、全世界へと発信することができます。メリットがあります。しかし、これにはパソコンやインターネットへの接続が必要であり、今のところ全町民が同時に情報



を得ることは難しいことと考えています。また高齢者等パソコンを苦手とする方々には見てもらうことができないといったデメリットも挙げられます。

防災行政無線では、毎日3回の定時放送を聞いている時は「そうか、そうか」と聞いているものの、記憶に残らないといったことや、また機器の耐用年数も過ぎていたり、故障した場合に膨大な修繕費がかさむことも大きな問題です。



第三者を利用した 情報媒体

第三者の媒体を利用している情報もたくさんあります。

まず町が多額の投資をしているTSTとなみ衛星通信テレビから発信している情報として、隔週でお知らせしているTST行政情報コーナー(5ch)や、掲示板のように流れるヘッドライン(55(32ch)があります。現在町のTST加入率は48%と、近隣市町に比べると高いものの全町民の皆さんが見られる状態には至っていません。TSTでは加入促進を図るため各種キャンペーンの実施を行っています。加入率がなかなか伸びず悩んでいます。

次にFMとなみのラジオ放送からは毎週金曜日12時30分に「庄川町からのお知らせ」を流しています。また砺波広域圏からは3ヶ月に1度発行される広域圏だより「じゃんとこい」や国道156号の砺波市役所付近の立体交差点には屋外文字広告塔からの情報発信も可能となっています。しかし、これらは皆さんが関心を持ち、自らの意志で受

地域の情報を 皆さんの力で 発信しませんか

このたくさんある情報媒体を生かし、一人でも多くの方に庄川町の魅力をお伝えし、また新鮮な話題が提供できるように考えています。

TSTへの加入促進と行政の案内などを行うため、砺波市、福野町、福光町のようにTST2チャンネルの活用を検討しています。

町内の皆さんの中でビデオの撮影が好きな方や興味のある方がおられましたら、どうぞご連絡ください。

そのとき、時代は

④

50年を振り返って

「交通機関の移り変わり」

里子 外二(青島)

古くからの交通機関として、舟とともに馬や籠が人々に親しまれてきたのに加え、明治に入ってから人力車や自転車普及してきました。自転車は明治30年頃には従来の木

製の車輪からゴムタイヤに変わり「雄神村誌」によると自転車の普及が著しく自転車事故が多発したので明治39年には「人や車を追い越すときはベルを鳴らすこと。急坂を下る時は下車すること。2台以上連続進行する時は前車との間に2間(約3・6m)以上距離を保つこと」と今日の交通規制によく似た厳重な自転車取締規制が設けられた」と記載してあります。このような交通機関の移り変わりについて里子外二さん(青島)にお話をうかがいました。町が合併した

昔の加越線「青島町駅」の様子(昭和初期)

昭和27年頃は自動車はまだ普及しておらず、里子さんが建具を運ぶ時は自転車に乗せて運ばれ、まだ道には馬車が走っていたそうです。町の自動車台数は昭和36年の28台から10年後の昭和47年には貨物自動車を含めると1、814台となり1家に1台の割合で普及しました。併せて交通事故も増え昭和30年代の町内での交通事故発生件数は10件程度から昭和47年には37件に増加しました。

この自動車の著しい発達により一般庶民の足として活躍した加越線の経営が悪化し、昭和47年9月廃線となり、代わって定期バスの運行が始まり現在に至っています。加越線は大正4年に開通し、現在のコープとなみ野庄川店前の宅地分譲地内に「青島町駅」が設置されていました。まず青島(福野間、6・7km)

が運行し、大正11年に石動(12・8km)まで開通し、全線で19・5kmとなりました。この頃、青島村では流送が盛んに行われており現在の町民プール付近一帯が木材の集積場となっていました。青島保育所付近に引き込み線を置き、この加越線を利用して各地に木材を運搬し、また働く人々を運ぶ大変重要な役割を果たしていました。また、小牧発電所の建設や流送に携わる大勢の労働者が町内にあった宿舎などに滞在しており、労働者が楽しむための芸妓が大正末期(最盛期)には40〜50人おられ、また玉つき場(今のピリヤー)などの遊技場もあり大変賑わっていたというお話もお聞きしました。

このように、自動車の普及や小牧ダム completion とともに年々利用者、貨物輸送数が減り、昭和47年「加越線を廃止し、代替バスに切り替える」旨の通告がなされ、役場はもろろんのごと、商工業者や、通学に利用していた生徒に衝撃を与え、廃止反対運動も行われました。この反対運動もむなしく、廃止となりましたが、最後の運行となった9月15日は「蛍の光」のメロディーが車内を流れ、終列車まで無料開放され、別れを惜しむ方々で賑わったそうです。現在加越線路の跡は県道「自転車道路」として利用されています。



加越線廃止さよなら列車(昭和47年)

国際
No.88

**ジョンの
イギリスあれこれ!**

Q：国際競技であるサッカーについて聞いてみました。

A：国際競技のルールは1863年、イギリスで決められました。史上初の国際試合は1872年、スコットランドとイングランド



の対戦で始まり、南米初の試合は1901年、ウルグアイ対アルゼンチンの対戦でした。

Q：ジョンさんはサッカーが好きですか？

A：もちろんです。イギリス人にとっては、ワールドカップは4年に1度開催される世界最大のスポーツイベントで、オリンピックより人気があるかもしれません。

ワールドカップが日本と韓国で開催された今年、日本に滞在していたことは本当にラッキーでした。イングランドチームの応援に、札幌と埼玉へ出掛けたことは、私にとって最高の思い出となりました。

ジョンさんは7月中旬にイギリスへ帰国されることになりました。とても誠実で好感の持てる青年でした。ジョンさんに代わって8月からローラさん(女性)をALTとして迎える事になっています。

交流日記

むかわ
No.74

**たんぼぼフェスティバルが
開催されました**



今年で15回目を数える「たんぼぼフェスティバル」は、町内を流れる一級河川「鶴川」の河川敷にある、面積約10haのたんぼぼ公園で5月26日に開催されました。たんぼぼ公園は見渡す限りたんぼぼが群生し、一面黄色いじゅうたんを敷きつめたようになりますが、今年のたんぼぼは暖冬の影響からか例年より半月ほど開花が早かったため、フェスティバルの時にはほとんど綿毛の状態でした。

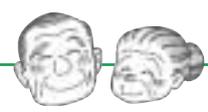
しかし、当日は天候もよく、早喰い大会や直径5mのジャンボ鍋で作られた豚汁などを目当



てに、約1万5千人の観光客が訪れ大いに盛り上がりました。

鶴川町派遣職員 菊池 紀明(庄川町総務課主任)

利用しませんか?



介護保険以外のサービスでは、ひとり暮らしや高齢者世帯が対象となりますが、介護保険のサービスと合わせて利用することもできます。

軽度生活援助事業

在宅のひとり暮らし高齢者または高齢者のみの世帯に対し、買い物代行や付き添い、外出時の援助・散歩の付き添い、除雪など、簡単な日常生活上の援助を行います。

- 対象者 65歳以上のひとり暮らし高齢者など
- 利用回数 1週間に1回2時間以内
- 利用者負担額 1時間あたり100円 (除雪単価は別途)

高齢者福祉サービス②

外出支援サービス事業

リフト付車両及びストレッチャー装着ワゴン車、またはスロープ式車両により、居宅から医療機関への送迎を行います。

- 対象者 在宅要介護状態4または5に認定された方など
- 利用回数 概ね月に1回の往復利用
- 利用者負担額 福祉車両タクシーの実費運賃から300円を控除した金額 または、介助員が同乗した場合は500円を控除した金額

ちよつと一言

「図書館へ行こう」



町政モニター
藤井 秀嗣

先日、午後7時から会合があり、ふれあいセンターへ出掛けました。

その際、隣接の町立図書館が明るかったので覗いてみたところ、高校生が数人、机に向かい勉強をしていました。

閉館時間をとくに過ぎているのにどうして?と思いつながら入りの看板を確認すると金曜日は午後8時までと書いてありました。

そう言えば、町の広報の新刊案内コーナーに閉館時間が記載されていたのを思い出しました。平成11年から実施されている、このような夜間開館の図書館は

県内でも少数だけだそうです。また、今年の7月からは完全学校週五日制に対応して、3月1日から10月31日までの期間は、土・日・祝日の閉館時間を一時間延長して、午後5時までになったそうです。

このほかにも、毎週金曜日には図書館の蔵書を小学校へ運び、貸し出しをする「移動図書館」や、子どもの工作教室、手作り紙芝居の読み聞かせ、大人も応募できる読書感想文コンクールなど様々な事業が実施されています。いずれも町民に少しでも読書の時間を提供したいという配慮がうかがえます。昨年度は年間一万人を超える来館者と二万五千冊の貸し出しがあり、町民一人あたり一・五回利用し、三・四冊借りているそうです。

図書館の普段の利用者は昼夜とも比較的空いているようですが、夏休みともなれば小・中学生で賑わい、閲覧用テーブルが足りなくなるといった話も聞きました。このような場合は臨時措置として移動機を増設して対応しているそうですが、ふれあいセンター内の研修室やホールなどを開放するのによいのではな

いかと思います。

町の図書館をとりまく環境はとても整備されており、これを利用しないのは実にもったいないことです。読書に興味のある方はもとより、興味のない方をひとりでも寄ってみようかなと思わせるような工夫を、もっともっとしていただきたいと思っています。

図書館ファンを増やし、他市町村で行われていない庄川町オリジナルの特色ある活動をお願いします。



種田保育所での絵本の読み聞かせの様子

工事等入札結果 (5/21~6/20)

工事期間中は、町民の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

番号	工事等名	施行箇所	工期	請負金額(円)	落札業者	備考
1	林道三谷線舗装工事	三谷	6月19日から 9月30日まで	4,830,000	木村産業(株)	
2	町道第5号線污水管渠布設工事	青島	6月21日から 8月30日まで	17,325,000	庄川興業(株)	横井 博宅前交差点~ 里子建具製作所(1号 環状線)
3	町道第24号線污水管渠布設工事	天正	6月20日から 8月30日まで	14,700,000	水上工業(株)	梅本治朗宅~ 米道信夫宅前交 差点
4	町道第31号線污水管渠布設工事	金屋	6月19日から 8月30日まで	6,615,000	藤森工業(株)	藤田義雄宅~ 扇割石材店作業 場(1区)

スポーツ

第7回県老人クラブ連合会会長杯ペタンク大会

とき 6月1日(土)
ところ 県空港スポーツ緑地
参加チーム 61チーム

3位 庄川中之島B
(齊藤 實、川辺俊雄、北田市雄)

第28回東砺波郡小学校連合運動会

とき 6月5日(水)
ところ 小矢部陸上競技場

<男子100m走> 1位 新井 祐稀
<女子60mハードル> 2位 台蔵 史織
<男子ソフトボール投げ> 3位 坂本 駿介
<女子ソフトボール投げ> 1位 千秋 愛里

砺波地区中学陸上競技選手権大会

とき 6月8日(金)~9日(土)
ところ 小矢部陸上競技場

1年男子100m 1位 細川 諒輔
第20回春季町民壮年ソフトボール大会

とき 6月9日(日)
ところ 町民運動場

参加チーム 7チーム
1位 19区壮年会
2位 壮誠会

砺波地区中学選手権大会

とき 6月15日(土)~23日(日)
ところ 砺波地区一円

<剣道>

団体戦 男子 3位 女子 2位
個人戦 男子 1位 島田 龍明
2位 齊藤 隼平
女子 1位 藤井はるか

<柔道>

個人戦 47kg級 1位 山田 諒
73kg級 2位 二口 雄介
81kg級 3位 島田 宗弥

第11回全国スポーツ少年団大会兼第8回JR西日本学童野球大会東砺波郡大会

とき 6月18日(火)~21日(金)
ところ 城端町城南スタジアム
1位 庄川町野球スポーツ少年団

第33回北日本新聞朝間野球東砺波郡大会

とき 6月23日(日)
ところ 町民運動場
1位 ねんごろ会
(ねんごろ会は、2年ぶり3回目の県大会出場)
北信越高等学校体育大会出場者

バレーボール競技

石黒 大悟(高岡第一高校2年)
藤井 拓(高岡第一高校1年)

ソフトボール競技

中村 真由(井波高校3年生)
大丸ひとみ(井波高校2年生)
荒井 智子(井波高校2年生)

剣道競技

松井 理恵(高岡工芸高校2年生)
宮島 恵(高岡工芸高校2年生)

町民体育センターの トレーニング室が リニューアルしました

町民体育センターのトレーニング室の
パーテーションを改良し、明るく開放的
な空間になり、これまでより快適に利用
できるようになりました。多くの皆さん
のご利用をお願いします。



第13回庄川清流マラソン大会開催

日時 8月4日(日) 午前7時20分~(雨天決行)
場所 町民運動場(受付・スタート)
種目 2kmの部 一般男女/小学生男女(3年生以上)
4kmの部 一般男女/中学生男女
10kmの部 一般男子40歳未満/一般男子40歳以上
/一般女子

表彰は各部門1位~6位及び特別賞

招待選手 津田 純一(アスロン所属)

10kmの部に出場予定

問合先 体育課 ☎82-5109



津田 純一

開催期日

7月20日(土)・21日(日)

開催場所

庄川みどりの広場

鮎のつかみどり
(中学生以下)

花火ファンタジア

川下り体験(ラフティングボート)

鮎つり名人に挑戦

素人お笑い

風船パフォーマンス
など

長さ18mのビックな
炉を使い、清流庄川の鮎
の塩焼きや、ステージでは
地元バンドコンサート、チア
リーディングなども楽しん
でいただけます。

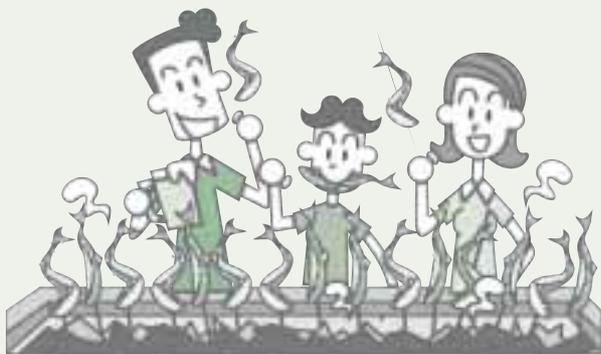
*詳しいことについては、
折込チラシをご覧ください。

問合先

庄川あゆまつり実行委員会
(企画調整課内) ☎82 - 1905

庄川
あゆまつり

清流庄川のあゆを思う存分食べよう!



ラフティングボート・カヌー試乗会 参加者募集

リバーサイドスポーツ事業として、7月21日(日)
と8月25日(日)の両日、川下りを開催します。そ
の事前練習として、試乗会の参加者を募集します。

期 日 7月14日(日)

時 間 午前9時30分～正午

場 所 町民プール

申込先 体育課 82 - 5109

2002 庄川水まつり

8月3日(土)

- 10:30～ オープニング
- 10:50～ 厄払い餅まき
- 11:30～ 第4回流木乗りJr.選手権大会(開会式)
- 11:45～ Bちゃん体操
- 12:30～ キャラクターショー(仮面ライダー龍騎)
- 13:00～ 第4回流木乗りJr.選手権大会(競技開始)
- 13:15～ 第3回ターザン選手権競技開始
- 14:00～ ベイブレード大会
- 15:00～ キャラクターショー(仮面ライダー龍騎)
- 20:00～ SUPERナンカース2010(大抽選会)
- 10:30～21:30 んまいもん市・ちびっこ天国

8月4日(日)

- 8:30～ 第16回流木乗り選手権大会(開会式)
- 9:00～ 第16回流木乗り選手権大会(競技開始)
- 10:00～ 第3回ターザン選手権競技開始
- 12:00～ ベンチャーキッズチャレンジ
- 12:30～ キャラクターショー(ハリケンジャー)
- 15:00～ キャラクターショー(ハリケンジャー)
- 9:30～17:00 んまいもん市・ちびっこ天国

*内容等は変更することがあります。ご了承ください。

問合先 庄川水まつり実行委員会(産業建設課内)
☎82 - 1904 (内線193)

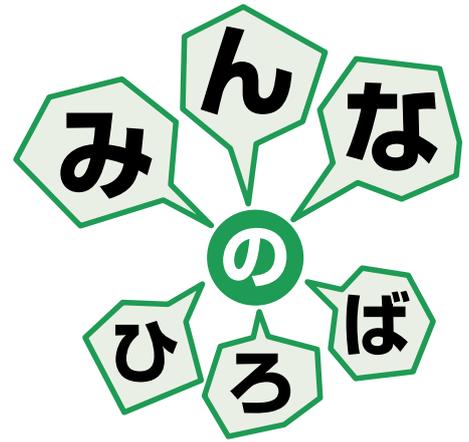


防火を祈願し 鎮火祭を開催

5月26日(日)青島の戸隠神社で鎮火祭が行われ、地元住民の皆さんや消防関係者ら約20名が集まり防火を祈願されました。

これは、明治34年に青島村で火災が発生し民家や納屋など93戸を焼き尽くし、神社前で火が消えたことから、火伏せの神とあがめられ、毎年5月26日に鎮火祭が行われています。神社前で玉ぐしをささげた後、齋藤宮司が火の神を落ち着かせるため、燃え上がる火にセリと川砂、水をかけて火を消されました。

皆さん、火災のない明るいまちづくりに心掛けましょう。



皆さんからの身近な情報、地域の活動など、町の情報の提供をお待ちしています。

企画調整課 ☎82-1905



ホタルの住める 水記念公園に

皆さんから「水記念公園がホタルの乱舞する公園になれば」という提案があり、水記念公園内の美術館とちびっこ広場の間の用水路を、ホタルの住める用水路に改修工事を行いました。

5月末には、町のホタル保護グループの方々が、「来年以降にはホタルの舞う姿が見られれば」とホタルの幼虫のエサになるカワニナ数百匹を用水路に放流されました。また昨年に引き続き町内6箇所にホタル生息地の標柱も設置しました。

今年は、二万石用水沿いの酒のフクちゃん裏や、これまで見られなかった水記念公園ちびっこ広場の池でもホタルが乱舞し、家族連れで楽しむ姿が見られました。

第57回県展に 4名が入選

第57回県展が富山県民会館美術館で開催され、日頃の努力が認められ、庄川町から4名の方が入選されました。

彫刻部門	県展大賞	大丸 敏	「そよ風」
工芸部門	県展賞	織田 定男	「水面の譜」
	入選	齋藤 肇	「栃造拭漆喰籠」
	入選	野村恵理子	「秋日和」



県展大賞を受けられた
大丸 敏さん

林業功労者表彰受賞

5月20日に行われた砺波林業協会総会において杉森 長さん(三谷)が林業功労者表彰を受賞されました。

杉森さんは長年にわたり造林地の保育や間伐事業に積極的に従事され、地域林業の振興に貢献されました。



幼年少年消防クラブ入隊式

6月1日(土)幼年・少年消防クラブ入隊式が役場前で行われ、新入隊員は元気よく「火遊びしません」と、誓いの言葉を宣言しました。将来大人になってもクラブで学んだ知識を生かし火災予防に役立ててくれることでしょう。

ごみゼロ運動実施

5月26日(日)早朝より、自治振興会が中心となり町全域においてごみゼロ運動が実施されました。

道路や公園の空き缶や吸殻などのごみ拾いの外に、三谷地区では山間部の不法投棄の撤去も行われ、タイヤや洗濯機、自転車など、1~2時間の作業で軽トラック約15杯分もの大量のごみが回収されました。



一人ひとりが責任を持ち、日頃から環境美化に心掛けてもらえるよう、今後とも皆様のご協力をお願いします。

水難事故を想定して

庄川の清流を求めての行楽や鮎釣り、そして梅雨に入り河川の増水が予想されることから、6月11日(火)関西電力小牧発電所下流で「庄川水難救助訓練」が実施されました。

訓練は、「河川の増水により釣人3名が中州に取り残され救助を求めている」という想定で、各関係機関相互の協力体制が円滑に遂行し、迅速な救助訓練を行うことができました。

放流のサイレン、放送などをよく聞いて、水の事故のないよう気をつけましょう。

庄川民芸館〔展示館〕オープン

故 片山等さんから1,400点余りの民芸品の寄贈を受け、その収蔵品の一部を展示した「片山等記念庄川民芸館〔展示館〕」が6月15日(土)水記念公園ふれあいプラザ内にオープンしました。

オープン初の展示は、「陶磁器・置物展示」と題して国内外の陶磁器をはじめ、土人形・水滴・枕頭などの民芸品48点を展示しています。どうぞご覧ください。



会期 7月28日(日)まで
開館 10時から17時
休館 火曜、年末年始、展示換の期間

企画展示予定表

(2002.6~2003.5)

木彫刻展

8月5日(月)~
9月29日(日)

国内外から収集された民族色豊かな木彫刻品を展示します。

お面・狛犬展

10月7日(月)~
11月24日(日)

アジア地域を中心とした数々のお面や狛犬などのから民俗の歴史を探ります。

ガラス作品・ともしび展

4月7日(月)~
5月25日(日)

珍しいガラス作品と生活に欠かせない「ともしび」の知恵を紹介します。

その他 企画展示に併せ、町民の方々が所有しておられる民芸品も展示したいと考えています。

問合先 教務課文化振興係 ☎82-5007



フルーツ村は楽しかったよ

5歳児がフルーツ村へ行き、ぐみとりを楽しみました。

大きな木に赤い実をたくさんつけたぐみを見つけると、子ども達は大喜びで手を伸ばしたり、木に登ったりしていっぱい取りました。手にしたぐみを見て「さくらんぼみたいや」とさっそく口の中に入れ、甘酸っぱい味にちょっとびっくりしていました。その後フルーツ村のりんごやぶどう、あけびなどの木も見て歩き、日頃、実った果実しか知らない子ども達にとって、木で実る果物の様子を知る良い機会となりました。

これからも様々な体験を通して色々なものに興味や関心を持ってほしいと思います。



種田保育所

手を伸ばして、ぐみ取りに挑戦しました。



甘酸っぱいぐみに少しびっくり。

おさかな天国を踊ったよ

町の5歳児77名が観光祭のアクアミュージックフェアで「おさかな天国」の曲に合わせて元気よく踊りました。頭に魚のお面をつける子や手に大きな魚を持つ子どもなど、それぞれが魚になりきりました。最後に町の未来を担う5歳児全員が「町制施行50周年おめでとうございます」と声を合わせると、会場から盛大な拍手が贈られました。



保育所



「おさかな天国」の曲に合わせて元気よく踊りました。





小学校

みんなで力を合わせ、楽しんだ宿泊学習

6月13日から1泊2日で5年生の宿泊学習を砺波青少年の家で行いました。

1日目はビーチボール大会、追跡ハイキング、そして、夕方はキャンプファイヤーを楽しみました。

2日目は野外でのカレーライスづくりです。子どもたちの活動の様子を見ていると、やさしい心で協力し合う姿がうかがえました。また進んで他の学校の友達や先生方にもあいさつする子、進んで後片付けをする子なども見受けられました。

子どもたちの感想を紹介します。

「キャンプファイヤーでぼくたちの発表『はスーパーマン』では、みんなが笑って楽しんでくれたのでよかったな」とTさん。

「だんだん山道になってきてきつかったけど、先頭の人が『この辺は滑るぞ』と後ろの人に気を配ってくれて、協力できていることにうれし

くなりました」とAさん。

5年生の子どもたちがひと回りもふた回りも大きく見えた宿泊学習でした。



みんなで楽しんだ追跡ハイキング



うまく火がついたかな？カレーライスづくりの様子

みんなで作ったカレーライス。とってもおいしかったよ。



中学校

自分たちの学校を自分たちの手で

庄川中学校の生徒会活動紹介No.3

ボランティア委員会
数年前、この委員会の委員長が高岡駅でチラシをもら

ったことがきっかけで、毛布を集めてアフリカに送ったことがありました。現在もアフリカでは、苦しい生活を送っている人がたくさんいます。そこで、今年は、「アフリカへ毛布を送る運動」を復活させ、5月から全校生徒に呼びかけて、



観光祭でのユニセフ募金の様子

29枚もの毛布が集まり、アフリカへ送ることができました。

他にも、ケアポート庄川への訪問ボランティアを呼びかけたり、観光祭後の清掃奉仕を小学校と協力して実施するなど、委員会の活

動は校内だけにとどまりません。

委員長の渡辺容子さんに話を聞きました。

「私たちは今年、アルミ缶や毛布集めなどに取り組ん

でいます。アルミ缶集めは車いすとの交換を目標に行っています。ボランティア活動は、身近なところから始めることができると思います。生徒が積極的にボランティアを行う学校になればいいなと思っています。また、思いやりのある活発な委員会活動を行っていきたいです」



集まった毛布は委員の手でまとめ、送られました。

Book

7/5 ~ 8/5

おすすめの1冊! 図書館

「ひとが否定されない
ルール」
日木 流奈 著



歩くことも話すこともできない
重度の脳障害を抱える12歳の少年の驚くべき感性と知性。想像を超える「人間の無限の可能性」と、常識にとらわれない「生きることの哲学」、それを可能にした家族の絆が伝わる手記。

新着図書

小説 マレー鉄道の謎	有栖川有栖
ニューヨークの悪魔	斎藤 栄
初夜	林 真理子
沙高樓綺譚	浅田 次郎
ゴッホ殺人事件 上・下	高橋 克彦
本能寺の変	津本 陽
燃えつきるまで	唯川 恵
エッセイ としゃぶりの時代魂の磨き方	落合 信彦
一般書 ぐるぐる思考よ、さようなら	野村総一郎
わたしを変えた百冊の本	佐高 信
日本人のこころ 5	五木 寛之
指揮官の条件	白 善 燁
児童書 おじいさんと10ひきのおばけ	にしかわおさむ
すりすりももんちゃん	とよたかずひこ
	ほか多数

この他の新着図書は、町ホームページで紹介しています。

開館時間

火~木曜日	9:30~18:00
金 曜 日	9:30~20:00
土・日曜日	9:30~17:00
休 館 日	
月 曜 日	1日、8日、15日、22日、29日
振替休館	21日

21	第8回町民ベタンク大会 12:45~ 町民運動場
22	フリーマーケット庄川なんでも市の開催について 日 程 7月28日(日) 午前9時~午後1時 場 所 水記念公園 問合先 庄川なんでも市実行委員会 庄川町商工会内 TEL82-1155 FAX82-5341
23	
24	
25	中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター
26	法律相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
27	第55回富山県民体育大会(7/29まで) 県内一円
28	
29	小学校 家庭訪問(8/2まで)
30	
31	一般相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
8/1	
2	健康相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
3	2002庄川水まつり(~4日) 水記念公園
4	第13回庄川清流マラソン大会 7:20~ 町民運動場スタート
5	中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター

公民館掲示板

青島公民館	さわやか歩こう会
とき 7月13日(土)	
雄神公民館(町内)	ふれあいセンター前集合
とき 7月27日(土)	
2002サマーキャンプ	
とき 8月10日(土)	
砺波青少年の家	
とき 8月11日(日)	
種田公民館	
町民大学種田会場	
現地学習	
とき 7月14日(日)	
富山ガラス工房	
ねいの里	
とき 午前8時~午後4時	

くらしのカレンダー

7/5	健康相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター
6	
7	第31回東西砺波郡民体育大会開会式 8:30~ 福野町民グラウンド
8	
9	子育て相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
10	介護相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 小学校 宿泊学習(6年生) 利賀少年自然の家
11	住宅改造相談 13:30~15:30 農村環境改善センター
12	
13	第12回富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会開会式 (7/14まで) 9:00~ 富山県総合体育センター
14	第28回町民朝間野球大会兼早起き野球大会 7:45~ 町民運動場・弁財天野球場 第8回町バットゴルフ協会会員親善バットゴルフ大会 6:00~ 庄川バットゴルフ場
15	人権相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 中国語講座 19:30~ 農村環境改善センター
16	
17	行政相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 中学校 保護者会(~18日) 中学校
18	女性問題相談 13:30~15:30 農村環境改善センター 小学校 保護者会 小学校
19	小・中学校 終業式 小・中学校
20	庄川あゆまつり(~21日) 庄川みどりの広場

日曜・祭日連絡医院

(診療時間 午前9時~午後5時)

一般診療	
7月14日(日)	くぼクリニック (福野) ☎22-7799
7月20日(土)	佐伯医院(福光) ☎52-0689
7月21日(日)	柴田医院(福野) ☎22-2011
7月28日(日)	鷹西内科医院(井波) ☎82-3231
8月4日(日)	富田医院(福光) ☎52-0392
歯科診療	
7月14日(日)	あい歯科クリニック (小矢部) ☎68-1101
7月20日(土)	増田歯科医院(小矢部) ☎68-2600
7月21日(日)	山室歯科クリニック (小矢部) ☎67-8777
7月28日(日)	清水歯科医院(小矢部) ☎61-1530
8月4日(日)	谷口歯科医院(小矢部) ☎61-3061

健診・相談・予防接種のお知らせ

行事名	対象者	日程	受付時間	実施場所
3か月児健診	H14.4月生	7月30日(火)	PM1:00~1:30	砺波厚生センター (旧砺波保健所)
育児相談	希望者	8月2日(金)	AM10:00	青島児童館
健康相談	希望者	毎週金曜日	AM9:30~12:00	保健センター
基本健康診査	東山見(1~6区) 青島(20~23区) 地区の40歳以上の方	7月8日(月) ~ 7月19日(金)		南部医院 平川医院 (土・日は除く)
	東山見 (7~11区・19区) 青島 (24~27区・38区) 地区の40歳以上の方	7月22日(月) ~ 8月2日(金)		
結核検診 (胸部レントゲン)	全地区	8月9日(金)	AM7:00~12:00	農村環境 改善センター
胃・大腸がん検診		7月11日(木)	AM8:30~9:00	種田コミュニ ティセンター
子宮・乳がん検診	希望者		PM1:00~1:30	
子宮・乳がん検診		7月24日(水)	PM1:00~2:00	保健センター

結核検診・基本健康診査の対象者は、国保加入者
社保家族 他に健診の機会がない方となっています。

子宮がん(施設)検診について

保健センターで7月25日~31日の間、個人負担金と引き換えに受診券を発行します。(頸部がん2,000円
頸体部がん3,000円)受診券を持参の上、県内婦人科で受診してください。

子ども放送局 番組予定

7/13 「自然・環境・動物」
(土) 触れあい探険記

7/27 「科学」
(土) 雨粒をつかまえよう!さわってみよう!

時間 10:30~15:30
場所 図書館 児童室

65歳以上(第1号被保険者)の皆さん

介護保険料の納付について

住民税の新年度の賦課状況により今年度の保険料の額を通知します。

普通徴収の方へ

納付書払いの方

7月上旬に保険料の通知書と4期に分けた納付書(ブック式)を送付します。第1期分については7月31日(水)までに、金融機関または役場で納めてください。(郵便局では納付できません)

納付には口座振替が便利です。新たに口座振替を希望される方は、7月12日(金)までに口座振替依頼書を金融機関に提出ください。(郵便局でもできます)

口座振替の方
既に口座を登録済みの方には、7月下旬に引き落としの通知をします。

特別徴収の方へ

7月下旬に、保険料の通知書と特別徴収額を通知します。

前年度と所得段階が変更になった方については8月分(第3期)以降で調整されます。

*詳しいことについては折込チラシをご覧ください。

問合せ先
砺波地方介護保険組合

☎ 34 8333

お貸しできる空き家があります

町では4月より区長さんに依頼し、空き家調査を実施したところ3軒の空き家がありました。町内・外の方で空き家を求めておられる方はお知らせください。

また町ホームページでも詳しい内容をお知らせしていますのでご覧ください。
空き家調査にご協力いただきありがとうございます。

問合せ先 企画調整課

☎ 82 1905

町民プール開放について

期日 7月20日(土) ~ 8月31日(土)
8月13日 ~ 17日は閉鎖します

時間 午後1時 ~ 4時
問合せ 教育委員会体育課
☎ 82 5109

第17次庄川町日中友好協会訪中派遣団員募集

訪中期間

8月19日(月) ~ 24日(土)
5泊6日

訪問都市
北京・大同・五台山

参加費用

1人 約205,000円
締切日 7月19日(金)

申込・問合せ先

庄川町日中友好協会事務局
(総務課内) ☎ 82 1901

消防設備士試験のご案内

消防設備士試験(前期)

日時 8月17日(土)

午前 甲種第1 2類
乙種第1 2類

午後 甲種第5類
乙種第4 5 7類

8月18日(日)
午前 甲種第3 4類
乙種3類

午後 乙種6類
場所 富山国際会議場
受付期間 7月10日(水) ~ 7月18日(木)

問合せ 井波庄川消防署
☎ 82 0119

自衛官募集について

募集種目

2等陸・海・空士
受付期間 9月16日(月)まで
応募資格
平成15年3月高校・短大等卒業見込みの方、または18歳以上27歳未満の方

男子試験 9月17日(火)

女子試験 9月24日(水)
採用 平成15年3月下旬

問合せ先
自衛隊砺波募集案内所

☎ 32 3797

Eメール
jsdf-toy@micnet.ne.jp

第52回「社会を明るくする運動」について

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深めようとすることです。犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、7月は「社会を明るくする運動」の強調月間となります。

精神障害者家族教室のご案内

対象者 精神障害者の家族
日時 7月10日(水)

時間 午後1時30分 ~ 3時
場所 砺波厚生センター
(旧 砺波保健所)
内容 講義「精神障害者の社会資源の活用について」
講師

砺波サナトリウム福井病院
ソーシャルワーカー

福井淳夫先生
申込期限 7月8日(月)

申込・問合せ先
砺波厚生センター

☎ 22 3511

ひきこもり相談会の案内

対象者 長期間自宅に閉じこもり社会参加できない、いわゆる「ひきこもり」で悩んでいる家族
日時 7月18日(木)
午後2時45分 ~ 4時

場所 砺波厚生センター
(旧 砺波保健所)

内容 話し合い

・家族の悩みを語ろう。

・本人の要求や動きに、親はどう対応すればいいか? など

申込・問合せ先
砺波厚生センター

☎ 22 3511



習い事や各種サークルで制作された力作を「ギャラリー蔵」で展示してみませんか

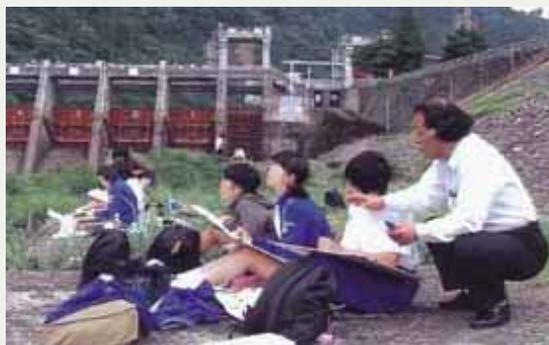
利用期間 1ヶ月以内
 毎週火曜日、祝祭日の翌日休館
 開館時間 午前10時～午後6時
 利用料金 町内利用者 無料
 町外利用者 有料
 販売目的 有料
 申込・問合せ先 教務課文化振興係 ☎82-5007

庄川美術館

第9回 中学生清流展

7/28(日)～8/4(日)

砺波地区中学校文化連盟と当館が主催する「中学生写生会」での絵画と、日頃の学習時間や美術部活動で描いた作品も併せて公募し、入選入賞した作品100点を展示します。



6/21・22開催の写生会の様子

善意の窓

福祉資金として

庄川町古上野 小牧庄一さん(亡妻の供養に10万円)
 庄川町示野 島田勝治さん(亡妻の供養に10万円)
 庄川町金屋 品川賢児さん(亡父の供養に5万円)

介護事業に

庄川町金屋 東 孝春さん (30万円)

砺波嵐山桜保存会へ

庄川町金屋 東 孝春さん (10万円)

皆様からのご厚志に対し、深く感謝申し上げます。有効に活用させていただきます。

図書館の開館時間変更のお知らせ

7月から10月末日まで図書館の土・日・祝日の開館時間が変わります。

一般の方はもちろん、学校週5日制になった子どもたちにも利用していただけるように

9:30～16:00までが**9:30～17:00**までと1時間延長になります。

なお、冬期(11月～2月)は16時で閉館します。みなさんのご利用をお待ちしています。

問合せ 町立図書館 ☎82-0266

福祉バスが利用しやすくなりました!

福祉バスが新しくなり、ダイヤもより便利になりました。みなさんが利用しやすいよう、福祉バスが町内を細かくまわっています。

高砂会館、ケアポート庄川、デイホームへの利用や町内の買い物の足としてお気軽にご利用ください。

ダイヤの一部改正のお知らせ

- ・午後からの便は町内を周回する便となっています。
- ・時刻表は役場または高砂会館、ケアポート庄川にあります。



福祉バス愛称募集

利用者みなさんに福祉バスを身近に、親しみをもって利用していただけるよう愛称を募集します。

- ・募集用紙 役場、社会福祉協議会、高砂会館、ケアポート庄川にあります。
- ・募集期間 7月31日(水)まで
- ・採用者には、粗品を進呈します。

応募先・問合せ先 住民課福祉係 ☎82-1902

みんなで作ろうふるさとの記録!

ビデオ撮影・編集に少しでも興味のある方大募集

私たちにとって心の原点である「ふるさと」を見つめ直し、その良さを孫・子へと次の時代へ継承していかなければなりません。その大事な「ふるさと」を映像で記録したり、その映像を加工して地域情報として町内外に発信していこうと考えています。

そこで、ビデオ撮影や編集に興味をお持ちの方を募集します。

ビデオ撮影を趣味にしておられる方や興味をお持ちの方、編集に興味がある方などの応募をお待ちしています。

応募・問合せ先 企画調整課 ☎82-1905

俳句

短歌

アカンサス
野村玉枝選

文化芸術

庄川俳句会
牛岳の青嶺の彼方幸住むや
暮れ遅し明日へ残して鉄洗つ
柿若葉法主巡錫門徒寺
溪谷につるくねくねと藤の花
連れ添ふてさゆり姫かも夏の蝶
夏祭たい松の獅子鬨を舞ふ
鮮やかなハングライダー山ひらく
牡丹の絵大作の前去り難し
梅雨晴や夜泣きするこの身をゆらす
紫を探しまわりてあざみ花
水張りし畦に目をひく芥子の花

松井 寒灯
雨池 遙
石山 欣
谷口 六友
畑 郁子
上野 恵子
坂戸 たつ
滝 のり
齊藤 尤鶴
山下 他美
池田 雅泉

山まゆの会
たうたうと白寿の爺や夏座敷
麦嵐庭先過ぎる農夫かな
花首を下げて堅香子そそと咲く
山国を細く飛びたる夏燕
戯れに掬ふ螢の青き香よ
栗の花咲き満ち足りて汚れけり
幼子の仔犬と歩む梅雨晴間
栗の花咲くや眉濃き勸九郎
曲水の濁れる影や沙羅散華
翡翠は梢のひと葉になりすまず
青蘆原水をもさの近江かな

有沢美智子
飯田小枝子
小川 ふみ
沖田 泰子
押見南美子
滝 昌子
堂垂 猷子
富樫アヤ子
森松さち子
吉田百合子
久保美智子

擦り剥きし傷白すと我がなめてけも
のめきめて血の匂ひする
西蓮寺五百回忌の大法要稚児へ付き
添ふ一日の弟子と
身を粉にし働く趣味の弟君変り果て
たる出棺悲し
十葉の四弁の花のゆるる時こぼるる
栗レンズとなりぬ
サツカーを観戦しつつ一瞬に声高く
なり勝利の熱狂
重重と垂れ下りある柳葉も吹く風に
ゆれ水の面撫でる
工作の糊瓶に小さき虫入りてもがく
様あり哀れ身つむる
刻々と陽の傾きて雲間より後光に射す
す時水田はオレンジ

朝倉 捨子
太田ユキエ
川上 キク
木村 和子
齊藤きみ子
志部谷良一
島田 敏子
清水 昭子

垂直の岩場はげしき東粵坊蚕の如く
吾も巡れり
華麗なるピツクな蝶も馴染みすぎ時
代を画して女帝は消へ去る
声明は家内満ちて楽の音や仏華の先
に飛天は舞ふか
若葉萌ゆ植物の名も鳥の名も少しは
増えるわが山歩き
青春の名残りの帽子に街ゆけば古い
のはにかみ消えて清しき
神秘なる満月の夜沖繩の珊瑚の産卵
海に広がる
娘や孫ら集ひて賑ふ花火の夜膳に花
添ふ曾孫の仕草
二歳ほどの女童駆けよる夢覚めて手
のもげし人形今日は繕ふ

長谷 良作
藤本久美子
松原 樹雄
森松 邦子
山本 知子
山崎 則子
吉田 数子
野村 玉枝

庄川美術館 収蔵作品紹介13

思い

1984年(昭和59)作 木彫 嶋田 秀男

荒いタッチで若い女性を初々しく彫り上げた生命感あふれる木彫作品です。

モデルを使い、粘土で等身大の塑像を作り、それを石膏にとり、さらに木彫りと一作に大変な労力をかけています。

昭和52年に砺波工業高校を卒業後、木彫家澤田政廣(熱海市出身、文化勲章受賞、日本芸術院会員)に師事、師が亡くなるまでの12年間住み込みで仕え、その後独立しました。力強い生命感と詩情あふれる作品を生んだ師の芸術に学んだといいます。

「思い」は21歳で日展初入選してから6年目に特選を受賞した記念の作品です。作家が彫刻の世界に入って7年目、いろんな思いが生じる時期、自分を見つめるために創ったというこの作品から彫刻にかけるひたむきな心が伝わってきます。創作の源である自分をしっかり見つめようとする姿勢はその後も次々と秀作を生みだし、平成9年日展会員に就任、平成13年には日展会員賞を受賞し高い評価を得ています。



みんなは 町の宝物



このコーナーでは、満3歳までの子どもの写真を募集しています。

住所、保護者、子どもの氏名(性別)、保護者から子どもへのメッセージ(20字程度)を書いて、企画調整課へ提出してください。(郵送でも可)自薦、他薦は問いません。

掲載は先着順となります。また、掲載後は、広報と一緒に返却します。



これからも兄弟仲良くね。

だいき
斉藤 大暉くん
(金屋)

父...義宗 母...和恵



早く歩けるようになって、散歩に行こうね。

しほ
井上 詩穂ちゃん
(金屋)

父...武 母...由佳里



歩けるようになったら、野球を教えてもらおうね。母より

そうた
嶋田 聡太くん
(金屋)

父...徳明 母...知美

この人この顔 この人生

八田 信孝さん
(青島)

サツキを通じて味わう喜び

今年も、役場にサツキの盆栽が届き、職員や役場を訪れるお客さんの目を楽しませてもらうことができました。

このサツキは、大正11年生まれの現在80歳でいらっしゃる八田さんが育てられたもので、毎年この時期に役場やケアポート庄川に飾られています。

八田さんが盆栽を始められたきっかけは、今から40年位前にすばらしいサツキを見つけたが値段が高くて買うことができず、それから自分で育てられるようになったそうです。

サツキをケアポート庄川に持っていくと入所しておられる方々が手を振って喜んでくださり、お礼の手紙を頂かれたそうです。八田さんは「入所者の方々は外へ出ることがなく、この赤い花の新鮮さに心を打たれたのでしょう。これからも元気な限りサツキを届け、喜んでもらいたいと思う」とお話しくださいました。

これまで鯉や石、松に凝ってきた八田さんですが、いろんな種類があり毎年成長を楽しめるサツキが一番自分にあっていたそうです。

元気の秘訣をお伺いしたところ、若い頃から身体を鍛えていたことやお酒はあまり飲まず、暴飲暴食は絶対にしないこと。これからは食事に気をつけ、長生きに心掛け、これからはサツキを手入れしながら楽しみたいとお話くださいました。

八田さんはこの他にも自生するエドヒガンを守るうと庄川嵐山桜保存会の会長も努められ、町制施行50周年記念の功労表彰もお受けになりました。これからもお体に気を付け、元気でお過ごしください。



